

昭和39年 紀元2624年 明治以来97年
西暦1964年 大正以来53年

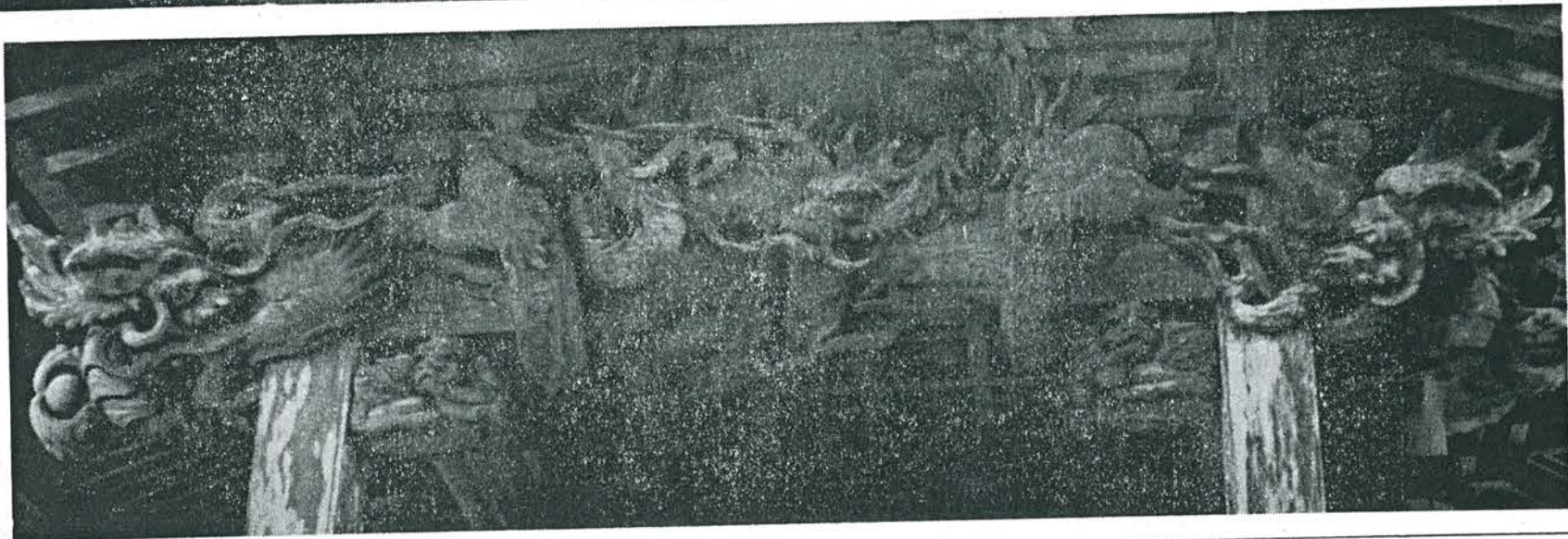
館報

大豊

発行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話杉55番
印刷 岩原印刷所
全戸無料配布

左の写真は怒田部落観音堂の龍の彫物です。
明治二十五年頃、南国市里改田の中沢茂吉氏の作といわれています。
上は部分、下はその全景です。

賀正



生きる

ありがたさ

村長 三谷 泉水

明けましておめでとうございます。
本年も相変らずよろしくお願い申し上げます。
大豊村は昭和三十年に誕生し、茲に新年を迎えて数え年十才となりました。
人間でしたら面白盛りで日に月に生長して去年の服は着れない時代です。

村も過去九戸間村民方の温い御理解と力強い御協力で大豊村に生長して参りました。

今年も村の十戸間の区切りとなることに意義深い年であり、今後永く続いて発展すべき大豊村の基礎造りの仕上げをせねばならぬ大切な年と捉えています。

村、村と曲線的にありますが、具体的に村とは何かと問われると即答に苦しみますが、考えれば村とは、一万八千村民のことであります。一人一人の村民が希望を燃えて幸福に暮らすことの出来るようにすることが、村の発展だと思います。

年改まり、一トを加えて思うことは、「生きる有りがたさ」であります。「ありがたさ」は、有ることばかりではない、ということ、そのことが極めて稀であるということでもあります。この身が今ここに有ることでありましょう。

人は必ず死ぬてきまっています。その命が今ここに生きているということ、ほんとうに有りがたいことでもあります。この有りがたさ、無上の喜びを感じあらしめねばならぬと年頭に當ってつくづく考えさせられます。

さあ、愈々昭和三十九年に入りました。今年こそ自分のため、家のため、村のため、国家社会の為、和衷協力融合一体の美しい姿を益々発揮して有りがたい生にゆえたいと存じます。

年頭の辞

教育長 長野 政高

村民の皆様明けましておめでとうございます。
皆さん初日の光と共に希望に輝く新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新しい年を迎えるに当たり昭和三十八年を振り返ってみますと、教育界はPTAの皆様方は申すまでもなく一万八千有余の村民の方々の御協力と絶大な御支援によりまして正常な軌道に乗ってまいりました。衷心より感謝申し上げる次第であります。

今から四十五年前は御承知の通り日本は全国内に又高知県も大豊村も児童生徒の学力の向上、人間性の各層陶冶等学校教育の目的や方向は若干怪視せられた観で、あまりにも騒々しい数年間でありましたが、それが今日では隔世の感と申しますか、村内各級の教職員諸氏も教材の研究に或は指導技術の習得等教育課程の改訂道徳教育の振興等にも努力しており、その効果は定に見るべきものがあるということが出来ます。

御父兄の方々と共に御同慶に存する次第であります。
社会教育については中央公民館が中心になつて運営審議員各位の御協力を得て色々と計画も樹て実施してまいっています。予算も少し、又職員も少く種々の隘路があり思うように目に見える効果をあげ得ず、遺憾に存する次第であります。今後は更に慎重に検討をする必要があると痛感しております。

「人づくりの源は教育にあり」とは申すまでもないのでありますが、すべては人の和が第一条件であると思ひます。

本年はなんとかして学校教育も社会教育も昨年よりは一歩でも前進するよう再検討の上努力したいと存じます。何卒昨年より以上、各方面の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

伸びる 有線放送農協

新農村特別助成事業として、立川、西峯地区も団体電話（共電式）が実現した。ホンスピーカーは、大豊の山間地帯だけに、はかりきれない利便をうみだし、有線放送の網がはるかに伸び、より大に生活向上に役を果して来た。

昨年、立川、西峯地区も、有線放送の網がはるかに伸び、より大に生活向上に役を果して来た。

農協名	36年	38年	2年間に ふえた数
天坪	261	310	49
大杉	410	510	100
大田口	114	320	206
西豊永	70	263	193
東豊永	0	480	480
計	855	1,883	1,028

行政の

苦情 110番

高知行政監察局では、いろいろの役所の仕事に対する希望や要望を承り、又その不平、不満などの苦情を承って、ご納得のいく解決のため、お世話になっている役所の仕事を、行なわれるようにして行きます。

役所の仕事によって、不利益や迷惑をこうむったり、不平不満をお持ちの方は、ご遠慮なく、お申し出下さい。

ご相談は、一切無料です。申出は、本人でも結構です。また、各様の秘密は、固く守りますので、安心してお申し出下さい。

ご相談の内容は、国の仕事であって、国の役所が直接に、又は、市、町、村に委託して行なっている仕事であれば、何でも結構です。たとえて申しますと、

◆土木の仕事は……道路、橋、堤防、河川、上下水道、堤防などの上り下り、金などについて、生活保護、母子、母子児童手当、身体障害者福祉、結核予防、精神衛生などについて、苦情です。

◆保険の仕事は……健康保険、国保、労災保険、船員保険、自動車損害保険などについて、苦情です。

◆恩給年金の仕事では……各種恩給、遺族扶助料、国民年金、厚生年金などについて、苦情です。

◆金融の仕事では……農業近代化資金、同改良資金、自作農創設資金、沿岸漁業整備資金、漁船整備資金、災害復旧整備資金などについて、苦情です。

◆その他の仕事では……国、有財産の売却、農地問題、開拓地問題、国鉄、国バス、郵便、電信電話、学校給食、計量および食品衛生、その他窓口事務、の不親切などであり、また、ご相談は、高知行政監察局に申出られ、ご納得のいく解決のため、お世話になっている役所の仕事を、行なわれるようにして行きます。

行政相談委員(大工上) 佐竹 繁晴
高知市中央一五八
高知行政監察局
(電話二一八四番)

◆保育所児童募集
次の通り、保育所入所希望児童を募集します。お申し込み下さい。

①受付期間
昭和39年1月10日
至 昭和39年2月10日

②申込先
役場(支所を含む) または、児童養育所

③入所できる児童は、その家庭に一定の基礎があり、かつ、前記申込先が、部局長さんに、おたずねください。

(役場民生課)

固定資産税

評価の方法が かわりました

土地は売買実例 価格によつて

①固定資産の評価が新しい方法によることになったのは、土地、家屋および償却資産の各資産について、適正で均衡のとれた評価をおこなうためのものであります。

評価の方法があらためられることによつて、もとより従来の評価額とは変動が生じることとなり、また、評価額の変動は、適正な評価といふものから見て、それによつて税の負担の増大を求めようとするものではないと、ご理解を願います。

評価額が倍に なつたら税も 倍になるわけ ではありません

①新しい評価方法のうち、家屋および償却資産の評価方法は、いままでと本質的にはかわりません。評価額は、従来からの評価額とあまり変動することはありませんが、土地の評価額は、新しい評価方法によつて、評価額が倍になる場合があります。

土地の評価額は、従来からの評価額とあまり変動することはありませんが、土地の評価額は、新しい評価方法によつて、評価額が倍になる場合があります。

②現在、村の評価事務は進行中ですが、残念ながら、まだ土地、家屋償却資産の評価額がどのようになっているかについては、正確な見通しをたてることができませんが、たゞ土地の評価額は、従来からの評価額とあまり変動することはありませんが、土地の評価額は、新しい評価方法によつて、評価額が倍になる場合があります。

③土地の評価額は、従来からの評価額とあまり変動することはありませんが、土地の評価額は、新しい評価方法によつて、評価額が倍になる場合があります。

④土地の評価額は、従来からの評価額とあまり変動することはありませんが、土地の評価額は、新しい評価方法によつて、評価額が倍になる場合があります。

⑤土地の評価額は、従来からの評価額とあまり変動することはありませんが、土地の評価額は、新しい評価方法によつて、評価額が倍になる場合があります。

温故知新

立野 田村 万石 投稿

去る十二月八日村教育委員会は、第一回大豊文化祭を開催し、県指定文化財大豊寺本尊阿弥陀如来の文化財の展示、多額の寄付金、多くの来賓、村内外の歴史、文化、民俗、風土、人情、など、多くの興味、関心、を呼び起した。これは、大豊の歴史、文化、民俗、風土、人情、など、多くの興味、関心、を呼び起した。

大豊の歴史、文化、民俗、風土、人情、など、多くの興味、関心、を呼び起した。



（総務課固定資産課）

この施設に必要なものは、NHK・RKC共に、え順調につけば、オリンピック

説

一月、三月、四月、納多いと、老令年金はもらえないことになり、妻や子の将来に対する責任、油ものも適量はお年がい

新年賀謹

年頭の辞

新春お目出とう存じます。
村民各位の迎えられました一九六四年が、更に輝かしき御多幸の年であります様、心よりお祈り致します。

村の行政は発足以来八カ年の星霜を経た今日、各般にわたり格段の進展を遂げて参りましたし、尚且つ村財政も健全である事は、村当局の適切な施策と村民各位の御協力と御支援によるものであり、御同慶の至りと存じます。

尚今後に於きまして
教育諸施設の統合と整備、農林業の近代化農業構造改善事業、治山事業の促進等、村の重要施策の推進を計り、後進性の脱脚に努めなければなりません。

私は一九六四年の年頭にあたり私共議会にかけられた使命の重大さを再確認の上、村民各位の信頼と期待に副うべく議会運営に努力する覚悟であります。

幸いにも今期村議会議員の諸氏も議会人として立派な識見を備えられ村政推進に意をつくされて居ります事は、心強い極であります。村民各位に於かれましても低開発地域といわれております本村の諸般の行政の推進に向後尚一層の御支援御協力を賜ります様偏へにお願い申し上げます。

以上所感の一端を述べ年頭の御あいさつと致します。
昭和三十九年一月一日

大豊村議会

議長 秋山 信吉

尚、本広告をもちまして村民のみなさまへ年賀の御挨拶にかえさせていただきます。



総務委員

森下

尾生 勇



総務委員

田辺

立川中和 穂



総務委員

門田

久生野 仁一



総務委員

鈴木

立川刈谷 友茂



総務副委員長

岡崎

岩原 啓



総務委員長

上村

上桃原 憲正



副議長・総務委員

野島

馬瀬 孝彦



議長

秋山

東土居 信吉



産業経済委員

門脇

大王下 盛恒



産業経済副委員長

松岡

穴内一区 雪男



産業経済委員長

西村

八畝 一清



建設委員

小笠原

小川 清浩



建設委員

北村

永淵 寿夫



建設委員

上村

三津子野 周一郎



建設委員

西岡

北川二区 丈



建設副委員長

吉村

東庵谷 利盛



建設委員長

秋山

穴内三区 秀実



教育民生委員

前田

柚ノ木 益喜地



教育民生委員

渡辺

川井 利男



教育民生委員

吉村

安野々 政勝



教育民生委員

秋山

川口 清高



教育民生副委員長

小笠原

立川中央 奎恵



教育民生委員長

寺石

大田口 由雄



産業経済委員

三谷

大平 一実



産業経済委員

桑名

西梶ケ内 豊茂



産業経済委員

吉村

西寺内 松義